

■田中不二麿(麻呂)
たなかふじまろ
阿部正弘首座1845＝
尾張藩士寅亮(儀兵衛)の子として名古屋に生まれる。

教育行政家。維新後、アメリカに倣った自由主義的な教育政策を展開したが、民権運動対策の前に挫折。

ペリー来航・1853＝ 8歳：
開国開港・・・1854＝ 9歳：

桜田門外変・1860＝15歳：

生麦事件・・・1862＝17歳：藩主に仕え、
8月18日政変 1863＝18歳：

薩長同盟・・・1866＝21歳：藩校明倫堂の監生，助教並となり，のち参与として藩政に参画。

明治維新・・・1868＝23歳：
戊辰戦争終・1869＝24歳：_新政府の大学校御用掛に採用されて，教育行政を担当することとなる。

廃藩置県・・・1871＝26歳：*文部大丞となり，岩倉具視を特命全権大使とする遣外使節団に文部省からの理事官として参加，随員とともに欧米教育制度の状況を調査。
学問のすすめ1872＝27歳：_帰国後，その調査報告を「理事功程」にまとめて上奏し，
明治6年政変 1873＝28歳：_文部省から刊行した。文部少輔，
佐賀の乱・・・1874＝29歳：*文部大輔に就任。文部卿が欠員であったために，最高責任者として省務を摂行する。
三つの内乱・1876＝31歳：_教育調査のために渡米し，
西南戦争・・・1877＝32歳：*米国百年期博覧会教育報告」を刊行する一方，文部省学監(顧問)のアメリカ人D・マレーと協力して，「学制」(明治5年8月公布)による全国規模での学校制度の創設を主宰する一方，地域の実情に合わせたその全面改正案の策定に尽力，
大久保暗殺・1878＝33歳：_「米国学校法」刊行後，改正案「日本教育令」を太政官に上奏したが，参議伊藤博文の指導修正により，
沖縄県編入・1879＝34歳：「教育令」全47条となって，公布された。この教育令は，教育の地域分権化を志向したものであったが，民権運動への対決策を強化しようとする政治的文脈のもと，監督権を弱められた地方官らの批判によって，
・・・1880＝35歳：*改正され，それに先立って司法卿に転出させられ，以後再び文教行政に復することはなかった。
明治14年政変1881＝36歳：参事院副議長，
秩父事件・・・1884＝39歳：_参事院議員兼特命全権公使としてイタリアに駐在，

国民之友始・1887＝42歳：フランス在動，

帝国憲法発布1889＝44歳：
帝国議会始・1890＝45歳：帰国して枢密顧問官に就任。
大津事件・・・1891＝46歳：_司法大臣となり，
大本教・・・1892＝47歳：再び枢密顧問官，

日清戦争始・1894＝49歳：

白馬会・・・1896＝51歳：条約実施準備副委員長，

子規句歌革新1898＝53歳：副委員長を退任，
Bushidou・・・1899＝54歳：

日露戦争始・1904＝59歳：高等捕獲審検所長官を経て，
日露戦争終・1905＝60歳：
満鉄発足・・・1906＝61歳：_一切の公職を辞して，

アヲキ`創刊・ 1908＝63歳：
伊藤博文暗殺1909＝64歳：_没した。